

国が提供する相談ダイヤルへの3桁番号の 付与に関する基本方針(案)

平成26年10月3日

総務省 総合通信基盤局

番号企画室

1 3桁番号の有効利用の観点から適当な相談ダイヤル

国が提供する相談ダイヤルについては、以下の点を総合的に勘案して1XY番号の利用を認めることとする。

- ① 緊急通報までの緊急性は無い場合であっても事件・事故を未然に防ぐための相談を受け付けるものであること。
- ② 国民が日常生活を円滑に営む上での権利侵害を解決するための相談を受け付けるものであること。
- ③ 地域限定ではなく全国的に利用されるものであることや特定の業種等からの相談だけではなくありとあらゆる人が相談できるものであること。
- ④ 子供や年配の人が相談することが多いダイヤルなど相談者にとって簡便なダイヤル手法であることが望ましいものであること。
- ⑤ 相談を受けた後に連絡があった場所へ駆け付けることや具体的な解決策を提示することなど、速やかな解決に向けた対応がなされるものであること。
- ⑥ 相談内容に応じた適切な体制(対応時間、対応者の配置、回線数等)が確保されるものであること。
- ⑦ 一時的ではなく長期的に継続するものであること。

2 具体的番号を定め「利用指針」を変更する場合の対応

具体的な1XY番号の付与に当たっては、以下のとおり対応する。

- ① 17Y番号及び18Y番号を優先的に利用することとしつつ、容易かつ広範な国民の利用を可能とする観点から、別の番号とすることも可能とする。ただし、19Y番号については、今後の新サービスの対応など1XY番号の更なる利用拡大に対応するため、引き続き保留とする。
- ② 複数かつ同種の相談ダイヤルについては、相談内容の専門性や国民の利用しやすさ等を勘案し、一つの1XY番号を統一して使用することも含め、適切に番号を付与するものとする。
- ③ 具体的に番号を定めた際には、速やかに情報通信審議会に報告する。

參考資料

1XY番号は桁数が短くダイヤルが簡単であり、また、1から始まるので特殊なサービスを想起しやすいという特徴がある。一方、この番号は個数が100個しかない限られた資源であること、3桁程度で100個程度の番号を確保できる代替可能な番号空間がないことが制約である。近年、新たな1XY番号の利用の進展によって、次に図示するように使用されていない番号の数が急速に少なくなっている。このような状況を踏まえ、1XY番号が将来にわたって発生する番号利用ニーズに的確に対応可能となるように、その有効利用方策について検討を行った。

○1XY番号の有効利用の観点から適当と考えられる用途

1XY番号を利用する必要性が相対的に高い用途(優先度の高いもの)とそれ以外のものとに分類し、優先度の高いものをA分類、それに準じるものをB分類とする。具体的な用途は次のとおりとする。

A分類の用途

- (1) 緊急性、公共性、安全性の観点から重要な用途
 - (例)・緊急通報(警察・消防)
 - ・災害対応(災害伝言ダイヤル)
 - ・プライバシー保護対応(発信番号通知、発信番号非通知)
- (2) 基本的な電気通信サービスの利用に当たって容易な認識が必要となる用途
 - (例)番号案内、故障受付
- (3) 既に3桁の統一番号として広く認識がなされている用途
 - (例)天気予報、時報、電報受付
- (4) 事業者共通のプレフィックスとしての用途

B分類の用途

加入者を直接収容する網で行われる処理(注1)						
オペレータの接続		設備への接続				
オペレータを介した呼接続	オペレータへの問い合わせ	呼接続に関する付加的な処理(注3) 1XY(0AB-J等)	呼接続	特定者向け情報の蓄積・再生(注4) 1XY(0AB-J等)	サービス条件の設定	その他
○	×(注2)	○	×	○	○	×

○は利用可、×は利用不可

(注1) 他の事業者が1XY番号による処理を行っている場合に、当該処理を行うオペレータまたは設備に接続して役務を提供することが許容されるならば、同一の1XY番号により処理を行うことを可能とする。

(注2) 営業・料金案内については、従来より利用者利便確保のため短桁で使用されており、当面使用可とする。

(注3) 接続先が固定的ではなく、1XYだけのダイヤルにより呼接続が行われるものを含む。

(注4) 蓄積時に1XYの後に端末系伝送路設備を示す番号等の長桁の番号を指定する場合に限る。なお、着信者に向け蓄積された情報をその着信者が再生する時には0A～J等の番号のダイヤルを省略できることとする。

	分類	利用方法
100	B	オペレータ経由呼接続
101		保留
102	B	非常・緊急扱い通話
103	A	番号案内(各事業者の網内番号を中心とするサービス)
104	A	番号案内(他事業者の番号を含む総合的なサービス)
105		保留
106	B	オペレータ経由呼接続
107	B	オペレータ経由呼接続
108	B	呼接続に関する付加的な処理
109		保留
	分類	利用方法
110	A	警察機関への緊急通報
111	B	試験
112		保留
113	A	故障受付
114	B	話中調べ
115	A	電報受付
116	B	営業・料金案内
117	A	時報
118	A	海上保安機関への緊急通報
119	A	消防機関への緊急通報

	分類	利用方法
120		保留
121	B	呼接続に関する付加的な処理
122	A	固定優先接続の解除
123		保留
124		保留
125	B	マルチ接続
126		保留
127		保留
128		保留
129		保留
	分類	利用方法
130		保留
131	B	通話料分計
132		保留
133		保留
134	B	サービス条件設定
135	B	サービス条件設定
136	B	発信電話番号通知サービス応用
137		保留
138	B	呼接続に関する付加的な処理
139		保留

	分類	利用方法
140	B	サービス条件設定
141	B	特定者向け情報の蓄積・再生【留守番電話】
142	B	着信転送
143	B	サービス条件設定【ドライブモード】
144	B	迷惑電話対応
145	B	話中時対応
146	B	特定者向け情報の蓄積・再生
147	B	発信電話番号通知サービス応用
148	B	発信電話番号通知サービス応用【通知要請】
149	B	サービス条件設定
	分類	利用方法
150		保留
151	B	営業・料金案内
152		保留
153		保留
154	B	サービス条件設定
155	B	サービス条件設定【位置情報利用】
156		保留
157	B	営業・料金案内
158	B	サービス条件設定
159	B	サービス条件設定

	分類	利用方法
160		保留
161	B	特定者向け情報の蓄積・再生
162	B	特定者向け情報の蓄積・再生
163		保留
164	B	サービス条件設定【端末切替え】
165	B	メール送受信
166	B	サービス条件設定
167		保留
168		保留
169	B	プロトコル変換
	分類	利用方法
170		保留
171	A	災害用伝言ダイヤル
172		保留
173		保留
174		保留
175		保留
176		保留
177	A	天気予報
178	B	呼接続に関する付加的な処理
179	B	呼接続に関する付加的な処理

	分類	利用方法
180		保留
181	B	サービス条件設定【ローミング】
182		保留
183		保留
184	A	発信者番号通知拒否
185		保留
186	A	発信者番号通知
187		保留
188		保留
189		保留
	分類	利用方法
190		保留
191		保留
192		保留
193		保留
194		保留
195		保留
196		保留
197		保留
198		保留
199		保留

分類ごとの番号数

A分類	13
B分類	40
保留	47
合計	100